

令和3年度第6回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和3年9月24日（金）午前9時58分から午前11時15分まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、
大内あゆ子委員
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、町田真裕学校教育課長、
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

議第16号 令和3年度教育委員会優秀児童生徒の褒賞「宮城浩蔵賞」について
議第17号 天童市指定文化財の指定の解除について
議第18号 天童市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の
制定について

報 告

- （1）学校教育課
ア 令和3年度全国学力・学習状況調査について

各課からの連絡

- （1）教育総務課
- ・高揃小の児童数増加による普通教室等の現状と今後の対応について
 - ・市議会における村山教育委員の再任の承認について
 - ・今後の家庭学習でのタブレット端末活用に向けた整備等について
 - ・通学路の合同安全点検について
- （2）学校教育課
- ・学校公開研究会について
- （3）生涯学習課
- ・西沼田遺跡ヌマリニピックの中止と代替行事について
 - ・イバラトミヨの新種発見について
- （4）学校給食センター
- ・10月の特別献立、天童給食デーについて

<教育長あいさつ>

おはようございます。はじめに通学路の安全性についてスクールバスがありますが、海外の日本人学校では治安の関係でスクールバスによる通学は、家の門から学校の門までです。日本のスクールバスの場合は、バスの停留所まで子どもが歩いて行くので100パーセント安全を確保するのは難しいようです。もう一つ重要なのは、今の日本の治安の状況を維持することも極めて重要です。ある市町村では、バスで通学すると脳が活性しないので最初に活動の時間を取ってから授業に入るようです。人間は、歩くことで脳を活性し健康的にも知的にも良い面があるようです。

次に、まちづくり懇談会で出された話題です。蔵増地域からは、蔵増バイパスの開通で信号機の移設に伴い、危険なため通学路を変更したが元に戻してほしいというご意見でした。元に戻すと、信号機のないところを横断する必要があり危険なのでこのままでとお話ししました。

成生地域では、県道の押切川橋には片方のみ歩道があり一旦、歩道がある側に子どもたちが渡って歩道を歩き、また学校がある反対側へ道路を横断するため、何回も道路を横断しないといけない。地域で注意して見てあげることが重要であるということと、県には平成8年から25年間要望していますが、要望していきながら改善していくとお話ししました。

冬季間の通学路の安全について、冬は通学路点検をやっていないのではとの指摘がありました。記録に残っていない印象にありますが、しっかりしていただいております。寺津地域には、きちんと記録に残っており通学路を変更するなど改善をしております。

三つ目に大きなニュースです。天童のイバラトミヨについて、新たな学名が付きました。学名プングティウス モデスタスとは、温厚な、やさしいという意味だそうです。常に水草に隠れて、やさしいイバラトミヨという意味でカクレトミヨという名前をつけたようです。絶滅の恐れがある野生動物の種の保存に関する法律が適応になりますが、絶滅しないような支援をつくっていくことや保全の難しさがあります。

結びになりますが、村山委員には4年間委員を務めていただき、来月からまた2期目について承諾いただいたことについて感謝を申し上げます。

< 議 事 >

議第16号 令和3年度教育委員会優秀児童生徒の褒賞「宮城浩蔵賞」について
＜可決する＞

審議経過

工藤委員：推薦された4人について、生徒会長をやれば必ずいただけるものではなく、宮城浩蔵賞の趣旨を踏まえしっかりと子どもたちを見て校長が推薦しているようです。今後の活躍が楽しみな4人であります。

議第17号 天童市指定文化財の指定の解除について

<可決する>

審議経過
特に質疑なし。

議第18号 天童市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の
制定について

<可決する>

審議経過
特に質疑なし。

<報 告>

(1) 学校教育課

ア 令和3年度全国学力・学習状況調査について 意見等

工藤委員：新聞の活用についての項目で、よく子どもたちが新聞を読んでいることがわかります。新聞をよく読むことで、いろんな分野に目を向けることはとてもいいことだと思います。大切なのは、学歴でなく学習歴でいかに経験、体験を積み重ねることが重要であると思います。

村山委員：タブレットを使用している状況が目に見えて特によかったと思います。天童市の状況がすごく恵まれていることがわかりました。家庭学習の面で、子どもが取り組む時間と姿勢を家庭でも育てられたらいいと感じました。

松村委員：大変順調な状況を嬉しく思います。子どもがタブレットを家庭に持ち帰り、すごく愛着を持って大事に使っている状況のようです。家庭学習の時間は、長いからいいことではなくて、短くても効率的に学んでいる子どももいると思います。例えば、家庭学習をした後の達成感であるとかそういう調査も盛り込んでいただくといいのではないかと思います。時間と内容の両方が大事であると思います。また、児童生徒のこころの部分も調査されているのは、すごくありがたいことです。コロナ禍のこともあり、子どもたちのこころの変化を掴むためにもとてもいいことだと思いました。

大内委員：こころのアンケートについて、人の役に立つ気持ちとか挑戦するという気持ちはとても重要だと思いました。コロナ禍で孤立している子どもたちに、地域で優しく接していく機会をつくる意味でも、地域の行事に参加するという部分が増えているのはとてもいいことだと思います。地域でほぐしてあげるようなサポートがあればいいと思います。

< その他意見等 >

工藤委員：高揃小学校の今後の特別支援学級数の見込みについてどう見えていますか。

教育次長：将来の特別支援学級の児童数は、まだわからないので現在は特別支援の教室を3つ確保していますが、もし増えた場合も想定して教室整備を計画しています。

工藤委員：イバラトミヨについて、今はもう保全の対象となって捕獲できませんが、それ以前に捕獲されて飼育しているイバラトミヨは大丈夫なのでしょうか。昔、市内の小学校にいただいたイバラトミヨが今も代々飼育されています。学校では、大事に飼育しておりますので市の方からも何らかのバックアップがあればと思います。

生涯学習課長：恐らく生息地が指定されますので、その生息地で捕獲したら違反ということになります。

教育長：その他にご意見等なければ、以上で第6回教育委員会会議を終了します。